

隼人の城

～霧島市の城とそこに生きた人々～



平成28年 1月26日(火)～5月8日(日)

隼人城は8世紀隼人の乱で大和朝廷と戦った隼人が最後まで立て籠もった2つの城のうちのひとつ(曾於之石城)といわれ、また島津家16代当主島津義久晩年の居城舞鶴城の詰城でもありました。この隼人城をはじめ霧島市内には姫木城、橋木城など古代～中世の戦いの舞台となった城が数多く存在します。

私たちが普段何気なく目にしている近くの山々。500年前そこに城があり、そこで戦い生きた人々がいたのです。

霧島市内の主な城とそれに関係の深い人々や史跡を紹介することでふるさとの歴史をもっと身近に感じ理解を深めるきっかけをつくる特別展です。

☆展示解説☆

第1回 (※一般向け)
2月21日(日) 午前10時～

第2回 (※児童・生徒向け)
3月27日(日) 午前10時～

解説 国分郷土館専門員
料金 無料(ただし、入館料が必要)

霧島市立国分郷土館

〒899-4316 霧島市国分上小川3891 (国分城山公園入口) TEL/FAX:0995-46-1562

●開館時間 午前9時～午後5時 ●休館日 月曜日(祝日の場合はその翌日)

●入館料 小・中学生・高校生/70円(60円) 大学生・一般/130円(110円) ※()は10名以上の団体料金